

平成28年5月18日

(事務担当)
生産流通課 生産振興G
担 当：葛城、蔭田
(直通) 225-1621
(内線) 4673

平成28年度新嘗祭献穀田御田植式にいなめさいきんこくでおたうえしきの開催について

平成28年度の新嘗祭献穀田御田植式が下記により開催される。

記

	加 賀 地 区	能 登 地 区
田植式日時 会 場	平成28年5月29日(日) 午前10時00分～ 野々市市藤平田現地ほ場 (別添地図参照)	平成28年5月23日(月) 午前10時00分～ 能登町上長尾現地ほ場 (別添地図参照)
献穀者氏名	せんだ つとむ 千田 努	まつい えいほう 松井 英芳
献穀田概要 ほ場面積 品 種	1,735㎡ コシヒカリ	1,924㎡ コシヒカリ
出席者 (予定)	中 田 農林水産部長(知事代理) 吉 田 県議 徳 野 県議 栗 野々市市長 早 川 野々市市議会議長 西 村 J Aののいち組合長 他	谷 本 知事 宮 下 県議会議長 山 口 県議 持 木 能登町長 鍛冶谷 能登町議会議長 山 崎 J Aおおぞら組合長 他

にい なめ さい 新嘗祭について

1. 新嘗祭とは

新嘗祭とは、11月23日（もと陰暦11月の中の卯の日）に行う宮中行事で、天皇が新米を天地の神に供え、親しくこれを食べる祭事

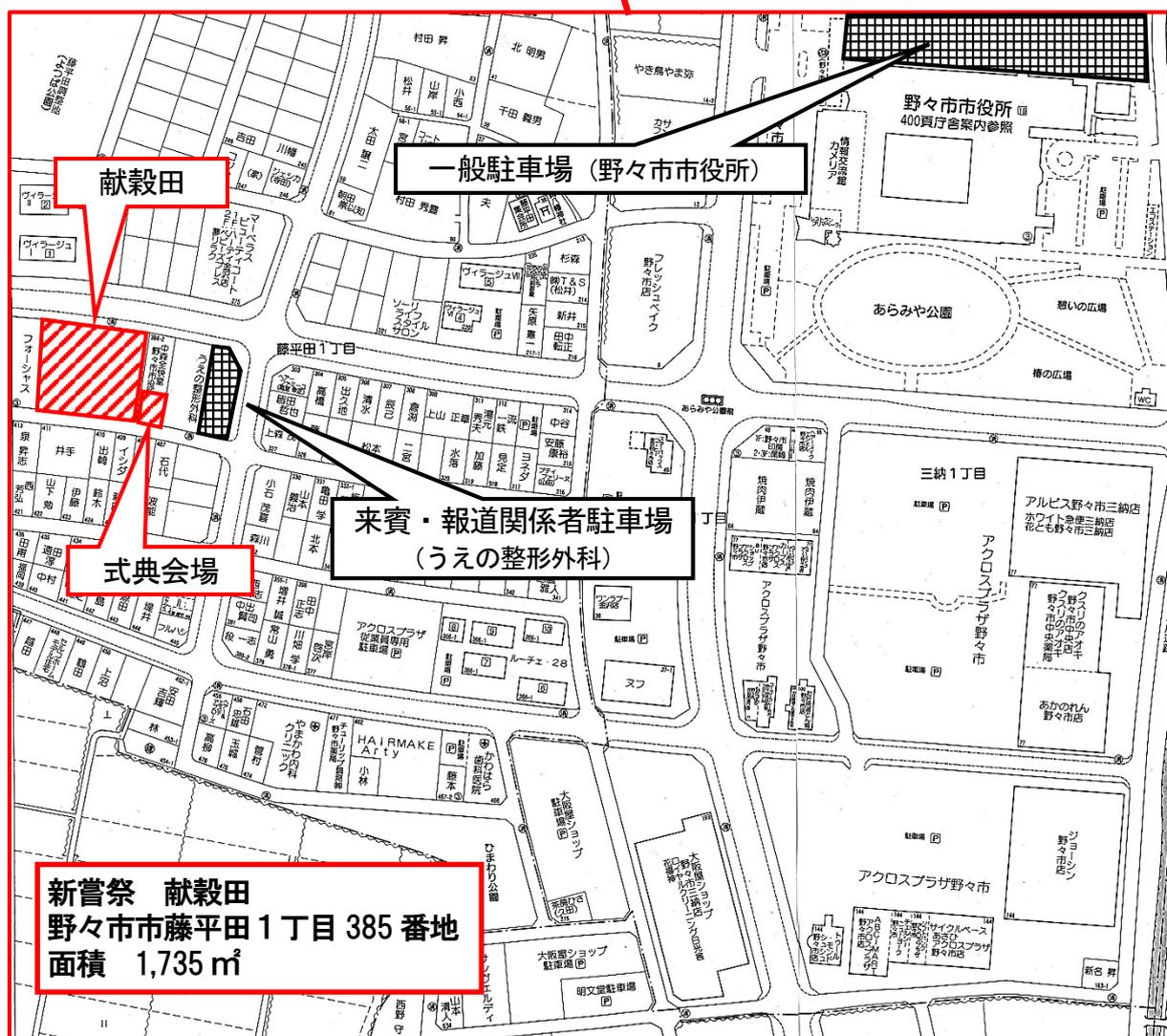
2. 新嘗祭はいつ頃から行われているか

- (1) 毎年実施されるようになったのは、第22代清寧天皇（西暦480年頃）
と言われている。（今上天皇125代）
- (2) 明治以前は、山城の国宇治の御領地で生産された米で実施されていた。
- (3) 明治初期から明治24年までは、全国の御領地で生産された米で実施されていた。
- (4) 全国の知事からの請願により、明治25年から各県で生産された米で実施されている。
- (5) 昭和21年に農林省監督が廃止され、現在の宮内庁での対応となった。

3. 献穀米の献納について

- (1) 皇居において、献穀献納式が10月下旬に執り行われる。
- (2) 皇居賢所で行われる献穀献納式に出席できるのは献穀者夫妻と各市町代表者及び作柄奏上者とその随行者
- (3) 全国各都道府県よりの献穀内容は、
精米のみ2カ所の県・・・石川県、北海道、福島県
精米のみ1カ所の県・・・愛知県、三重県、大阪府、高知県等
上記以外の都府県は、精米と精粟である。
- (4) 献納する量は、各県とも精米は1升、精粟は5合であるが、石川県は精米を2カ所なので献穀者一人5合ずつ（合計1升）である。

加賀地区 献穀田御田植式会場（野々市市藤平田）^{とへいだ}



能登地区 献穀田御田植式会場（能登町上長尾）

